

北東アジア共同体平和機構が誕生

同機構会長 金子利喜男（札幌大学名誉教授、平和福祉友好館館長）



2013年8月22日、札幌の教育文化会館で国際大会を開催し、総会で北東アジア共同体平和機構（略称は北東ア機構）の設立が宣言されました。この地域的機関は、国連と同じように、主要な機関として、**総会、各種理事会、事務局**などをもっており、その理解にそれほど困難でないでしょう。しかし注目すべきは、これらは**国連よりも民主的性格**をおびていることです。国連は国家代表に限定されていますが、この機構では、国家代表のみならず、自治体、個人でも、活動主体になることができ、**連帯理事は公益を代表する制度**です。（なお、こんど小生は**太平洋共同体友好機構**と**地球愛共同体機構**、略称が地球機構の構想にも着手しており、これは2020年ころまで設立できればと期待しています。）

1. 目的 これら機構の目的は、「平和の維持」「紛争の平和的解決」「**友好関係の促進**」「経済および生活水準の向上」に寄与することなどで、**民間外交、文化交流、ホームステイ**などがかなり重視されています。



2013年8月22日の第1回国際大会開催のさい、その北東アジア祭に参加したロシア人（左の写真）、今年6月8日に第2回国際大会開催のときに北東アジア地球祭に参加したモンゴル人（右上の写真）、道民と囲碁の親善対局をおこなった韓国プロ棋士チュンボンジョーたちは、ホームステイしながら、1週間ほどの交流を満喫しましたね。



2. 正会員の地位は、国家、自治体のみならず、個人にも開放され、役員でない会員は一般会員になり、準会員の年会費は格安。**なんらの義務もないML会員制**もあります。これは、e-mailのみ受信し、自分の好きな行事や会合だけに出席できるので、**自治体でも、議員でも、個人でも、まずML会員から始めてみてはいかがでしょうか。とくに自治体に参加してほしいですね。**



3. 主要機関 機構の主要機関として、会長、総会、連帯理事会、議員理事会、平和理事会、**友好理事会**、領土境界理事会、金融産業理事会、雇用労働理事会、**福祉医療理事会**、**人道支援理事会**、通信運輸理事会、資源保護理事会、エネルギー理事会、**教育科学文化理事会**、**報道情報理事会**、**観光ホテル理事会**、**スポーツ理事会**、**青少年理事会**、および事務局を設けることが予定されています。



4. 平和福祉友好館 わが機構の憲章第53条は、「**平和福祉友好館**」



を北東アジアと世界のいろいろな地域に設立することを予定しており、その1号館は、札幌でほぼ建設が

終わりました。（右の写真）それ以降、インターネットを駆使し、ロシアの囲碁棋士たちと（囲碁交流、道新）ここで歓談し対局を行なっただけでなく、国際音楽の夕べ、在札領事館の外交官による講演などを催しました。ことしは、もっと広範にネットテレビの生中継をおこなえればと期待しております。

げんざい全世界に開放される第2号館を構想しておりまして、その**パートナーを募集中**です。

5. **連帯理事会** 連帯理事の選挙にかんしては、機構全域におよぶ**単一巨大選挙区制**を採用しましたので、これは**全北東アジアの共通利益を促進すること**は火をみるより明らかです。選挙人は関係6か国から50名の国会議員。被選挙人、すなわち連帯理事は、関係国地域から各50名がえられますが、これを運用するために時間がかかるので、暫定的に今回は総会が関係国民の立候補者のなかから9名の連帯理事を選出しました。9名では少数なので、2次選挙を実施すると決定されました（総会決議）。中国人をふくんで数名が新立候補者となりましたね。どうぞ、皆さんも、北東アジアの公益を重視しつつ、候補者になってください。

北東ア機構のほか、太平洋機構や地球機構については、<http://mopw.org/>を参照してください。